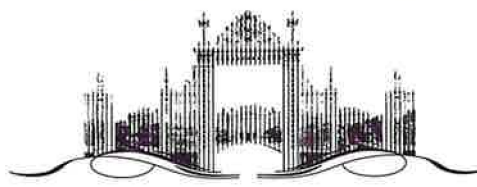




Make Dreams Real

夢をかたちに

2008～2009年度RI会長 李東建



Rotary Club of Tokyo-Akasaka

赤坂

東京赤坂ロータリークラブ

No.1007 / 2008.7.25

例会 / 毎週金曜日12:30

例会会場 / ANAインターコンチネンタルホテル東京

Tel 03-3505-1111

事務局 / 〒107-0052東京都港区赤坂2-19-8

赤坂2丁目アネックス3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

akasaka-rotary@w8.dion.ne.jp

http://www.k5.dion.ne.jp/~akasaka

Weekly Report

東京赤坂ロータリークラブ週報

「夢にむかって、楽しくロータリー」

2008～2009年度・東京赤坂ロータリークラブテーマ / 村山公士 会長

●本日の例会／2008年7月25日 第1031回例会

◎卓話

『蜘蛛の世界からみた環境問題』

日本蜘蛛学界自然保護委員会 委員長 新海 栄一 氏
(東京国分寺RC)

— ●先週報告／2008年7月18日 第1030回例会 —

『第2回クラブ協議会』 13:10～14:30

テーマ「全員で交換学生を迎えよう」

会長報告：

- ①ご来賓の紹介：東京南RC 中谷良平会長、東京南RC 佐藤尚巳幹事。
- ②バナー交換：富山南RC 道嶋一男氏。



社会奉仕委員会：(橋本委員長)

7月26日(土)11:40～15:00「泉の家おわかれ感謝のつどい」が、世田谷にあります泉の家で開催されます。模擬店、体験コーナー、手作り製品販売など、楽しい企画が盛りだくさんです。是非足をお運びください。

慶事披露：

誕生日祝 / 墨屋 勇君 (7月23日)

出席報告：(順不同・敬称略)

会員54名 / 出席27名・欠席27名(出席規定免除者6名)
ビジター / 中谷良平(東京南RC会長)、佐藤尚巳(東京南RC幹事)、道嶋一男(富山南RC) 計3名

第2回クラブ協議会報告

今年度赤坂ロータリークラブでお世話する交換留学生ミッシェルさんの来日を1週間後に控えた7月18日、「全員で交換留学生を迎えよう」のテーマで清水幹事の司会の下、本年度第2回目のクラブ協議会が開催された。村山会長の挨拶を皮切りに各氏から報告がなされ、その後会員による討議を行った。発言、検討要旨は下記の通り。

(村山会長)

ホストファミリーが決まらず不安があったが、地区の支援で地区青少年交換委員と派遣生家族で引き受けていただくことに

なった。ホストファミリーはいろいろ大変だが、よろしくお願ひしたい。青少年交換プログラムには青少年教育と国際交流の2つの面で大きな意義があり、貢献できる。また、これまでの経験者からは異口同音に「やってよかった」という声が聞かれる。我々にとっても貴重な経験ができる機会である。先週の卓話で鈴鹿さんや高橋さんから話があったように、交換学生を「お客さん」としてもてなすのではなく、家族の一員として扱うことが大切である。本日は皆さんから意見を出し合って実り多い会にしたい。

(吉田青少年交換特別委員長)

交換学生プログラムは、以前は国際奉仕プロジェクトであったが最近では新世代にウェイトを置いているようで、少し分りにくいところがある。また、先週の高橋地区青少年交換委員長の話を聞いて知ったのだが、このプログラムは「ロータリアンの子弟同士の交換」がプログラムの原点であり、「会員に対する奉仕」という点で他の奉仕プロジェクトにないユニークさがある。自分の子弟や孫が対象になることを初めて知った。この1年間、「親」として義務と責任を果たし、そして喜びを感じるように接してゆきたい。

(吉岡副会長)

8年前オーストラリアからの交換学生マディーを引き受けた。ファミリーの一員として受け、毎日お弁当を作ってもたせた。他の生徒と一緒に弁当を食べることで、コミュニケーションを深めることができたようだ。平日は一緒に夕食をとることがなく、不思議がられたがこれも日本の習慣と教えた。当時は会員全員が協力してくれて、休みのときなど京都や軽井沢、またはディズニーランドなどに連れて行った。今回も全員で応援してほしい。ホストファミリーの奥さんは大変だが、生きた英語を勉強できる機会にもなる。今回は女性でかわいい子なので、いい思い出を作っていたきたい。

(渡部会員—松永代読)

1995-96にアメリカ・ネブラスカ州の地方都市から15歳の女子高校生を迎えたとき、カウンセラーを担当した。大都市の暮らしに慣れておらず、無防備さが目立ったので「知らない人に気をつけなさい」という注意から始まった。ホストファミリーや学校ではコミュニケーションや気配りが大切。また、母国の家族との連絡や資料作成にパソコンは有用な道具だ。暮らしでは門限や外泊など、初めからルールとしてはっきり承知させることが大事。青少年交換学生の受け入れは、私たち自身の国際体験、教育体験でもあり、さらには、人と人との触れ合いの尊さを体験する貴重な場である。

(尾上前国際奉仕委員長)

2006年度から2年間、国際奉仕委員長として交換学生の受入を担当した。いろいろ紆余曲折があった。理事会で2007-08年度受入を決定、ホストファミリーも決めたが、地区から打診された候補生は食事や体質上の問題があったので、ホストファミリー、理事会と協議の上、受入を断った。その後も地区からは再三の受入検討依頼があったが、最終的にはその年度では受け入れないことになった。その候補者は神宮RCで受け入れたが、最終的には途中で帰国した。

(松永国際奉仕委員長 / カウンセラー)

現時点で決まっているミッシェルさんの年間スケジュールを

案内(内容は当日の配布資料、または HYPERLINK "http://insite-r.co.jp/Rotary/YEP_schedule.html" http://www.insite-r.co.jp/Rotary/YEP_schedule.htmlを参照)。また、ホストファミリーでの生活ルールやクラブ例会出席について説明。クラブ会員と交流(連れ出しに付いて)の注意点を説明した。

(小原前会長)

ホストファミリーの「抱負と希望」より「不安と懸念」という感が強い。最初はトルコからの学生で、2番目が昨年のドイツからで、いずれも実現しなかった。そして今度が3度目の正直である。これまでアメリカ人やイタリア人の学生を受け入れたが、ベジタリアンでなかなか苦労した。今回は少し楽でいいかと期待している。また、家庭内が活性化する期待がある。ただ、家内が仕事を持っているので機敏な対応ができないことがある点に不安が残るが、何とか行くのではないかと考えている。いざとなったら皆さんにSOSを出すのでその節はよろしくご支援願いたい。

(岩上前幹事)

今期は地区青少年交換委員会にも出向しています。自分は海外留学の経験はないが家内や娘は外国留学の経験がある。また、韓国からの女子留学生を受け入れたことがあり、娘は歳も近く、同じ学校に通うので今から楽しみにしている。家内はまだ娘の弁当を作っており、1個が2個になっても変わらない。青山学院は現在改装中なのが残念だが、修学旅行は少人数での行動で楽しい思い出になると思う。家内から、交換学生を預かったときは早く帰宅し、一緒に食事するように言われているので、3ヶ月間は早く帰るように努めたい。

(柴本会員)

別府RC時代、地区委員を3年間やった。そのときアメリカ・ウィスコンシン州から女子学生を受け入れた。最初はホームシックで泣いてばかりいたが、徹底的に日本の暮らしに慣れさせた。毎日ご飯の弁当を持たせたり、日本式の風呂の使い方をさせたりして、甘やかさないことが大事。日本人の友達ができるとホームシックも治り、また言葉も上達した。帰国時には帰るのがいやだと泣く始末。食べ物も納豆と奈良漬以外は何でも食べられるようになった。後日談があり、3年後東京駅から「日本語教師になるために埼玉の養成所に入学する」と電話をかけてきた。今は母となり、日本語教師をしている。東京でも地区委員を3年して四分一さんに委員を譲ったが、そのとき「青少年交換委員は麻薬だ。止められない」と話した。なぜなら、苦労も多いが、子供たちが育ってゆくのが目に見えて楽しいからだ。特に日本からの派遣生は自立心がつく。世話し過ぎないようにすることが大事。

(四分一会長エレクト)

柴本さんがおっしゃったとおり日本の子供は甘やかされているが、ホームステイで厳しくしつけられたりすることで自立心ができるようになる。送り出す前と後ではその違いがはっきり分かり、地区委員の醍醐味を味わった。交換制度であるので、その国の習慣、ホストファミリーの暮らしのルールを事前開示し、それに従ってもらうのが原則。例えば、日本の子供は車に乗るときシートベルト装着を嫌がるが、海外の子供は(ルールとして親から厳しく言われているため)自分から着けている。社会のルールを守る姿勢が備わっている。この歳になっても交流から学ぶところは多い。

(庄司会員)

前回マディーさんのお世話はできなかったが、ミッシェルさんには日本の文化を学んで欲しいと思うので、国立美術館や博物館などの多く、また明治の文豪が多く住んでいた上野公園界隈を案内したいと考えている。

(橋本会員)

昨年は夏休みと冬休みに受け入れる用意があったが、今年は引越しやその他ことがあり残念ながらホストファミリーを引き受けることができなかった。父が浦和ロータリークラブのときオーストラリアから交換生を受け入れたことがある。ミッシェルさんにはクラブのホームグラウンドに近いので、東京ミッドランドや六本木ヒルズなど都心を家内と一緒に案内したいと考えている。

(鶴間)

これまで留学生を受け入れた経験はないが、娘夫婦がスリラ



シカに駐在したこともあり、外国人と接することに抵抗はない。具体的なプランはないが、冬休みや春休みに一泊で連れ出したり、週末に娘夫婦や息子との交流を考えている。また、家内の仕事場を見学してもらうことで日本女性の仕事環境について見聞を深めてもらえればよい。ホストファミリーから時期などの希望があれば対応したい。

(中谷東京南RC会長)

側で聞かせてもらいありがとうございました。南RCでも協議会を持っていますが、出来レースでこれほど活発な議論はされていません。一人の交換学生のために皆さんが知恵を出し合って何とか楽しい生活が送れるように前向きに取り組んでおられる姿勢には感銘を受けました。今日、見聞させていただきましたことをクラブに持ち帰ってわれわれの協議会も活性化させるよう努力してゆきたいと考えております。

最後にまとめとして村山会長から、皆様熱心に討議していただきありがとうございました。皆様、意識が高く、またご経験もあるので受入は大丈夫だなという意識を持ちました。なお、これまで引き受けた交換学生や奨学生とはその後の交流が途絶えているケースも多いので、今回はその点にも注意を払ってゆきたいと思います。



7月18日

11件 28,000円／本年度累計120,000円
多額のご寄付をありがとうございました。(敬称略)

中谷良平(東京南RC会長)、佐藤尚巳(東京南RC幹事)／赤坂ロータリークラブの弥栄を祈念して。村山公士／東京南ロータリークラブの中谷会長、佐藤幹事、本日は赤坂ロータリークラブへようこそ。どうぞごゆっくりして下さい。清水實／東京南ロータリークラブ中谷会長、佐藤幹事揃い踏みは恐縮です。よろしくお願いします。松永秀和／もうすぐ夏休みですね。本日の協議会よりお願いします。小林博茂／泉さん、ソングリーダー指揮棒指導ありがとうございました。小沢征爾に対抗・・・と友人には言いふらします。内田憲三／7/11～7/16でベトナムのハノイ、タイのバンコクを廻ってきました。今回は特に夜の裏事情を見てきました・・・。尾関武男／エコに協力？今年1月よりマイカーを処分しました。暑さの中、毎日電車通勤でがんばっています。岩上さん写真ありがとう。金澤磐夫／健康と仕事で暫く欠席。今日は親睦係ですが、未だ新米ですがよろしく。西澤民雄／これから大阪へ行ってきます。土屋さんご苦労様です。土屋東一／皆さん、本日もニコニコにご協力いただきありがとうございました。

●次週予告／2008年8月1日 第1032回例会

◎卓話予定

イニシエーションスピーチ

当クラブ会員 金澤 磐夫 氏
(株式会社ダイナミック・アート研究所 代表取締役)